

建築工事監理委託業務成績評定表

〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇営繕事務所

業 務 名	〇〇工事監理業務		
契 約 金 額	当初: ¥ 〇〇〇〇	最終: ¥ 〇〇〇〇	
履 行 期 間	当初: 〇〇年〇〇月〇〇日～ 〇〇年〇〇月〇〇日	最終: 〇〇年〇〇月〇〇日～ 〇〇年〇〇月〇〇日	
完 了 年 月 日	〇〇年 〇〇月 〇〇日		
完 了 検 査 年 月 日	〇〇年 〇〇月 〇〇日		
既 済 部 分 検 査 年 月 日	〇〇年 〇〇月 〇〇日		
契 約 相 手 方 住 所 氏 名	〇〇〇 〇〇〇 〇〇建築事務所 〇〇〇〇		
管 理 技 術 者 氏 名	〇〇 〇〇		
担 当 主 任 技 術 者 氏 名	(意匠) 〇〇 〇〇	(構造) 〇〇 〇〇	
	(電気設備) 〇〇 〇〇	(機械設備) 〇〇 〇〇	
総 括 監 督 員 所 属 ・ 氏 名	〇〇営繕事務所 〇〇〇〇〇	〇〇 〇〇	印
主 任 監 督 員 所 属 ・ 氏 名	[建築] 〇〇営繕事務所 〇〇〇〇〇	〇〇 〇〇	印
	[電気設備] 〇〇営繕事務所 〇〇〇〇〇	〇〇 〇〇	印
	[機械設備] 〇〇営繕事務所 〇〇〇〇〇	〇〇 〇〇	印
完 了 検 査 員 所 属 ・ 氏 名	〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇〇〇	〇〇 〇〇	印
既 済 部 分 検 査 員 所 属 ・ 氏 名	〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇〇〇	〇〇 〇〇	印
業務評定点			
	総合評定点(総合点) ①-(②+③) (再通知を行った日付	(65) []	
業務評定点(総合点)の内訳			
①	調査員評定点と検査員評定点との総計	(65) []	
②	技術提案の不履行や事故等による減点	(0) []	
③	履行又は損害賠償の請求の実施による減点	(0) []	
※複数による検査が行われる場合、検査員全員の所属及び氏名を検査員所属・氏名欄に明記して押印すること。 ※[]内は修正後			

項目別評定点

業務名：〇〇工事監理業務

評価項目		評価の視点	業務評定・技術者評定	
			業務評定・管理技術者・担当技術者	
プロセス評価	専門技術力	目的と内容の理解 必要情報の把握 検討・確認項目、検討確認内容 打合せ資料の内容 十分な技術力	21.1 点	/ 32.5 点
	管理技術力	実施手順、工程計画 実施体制 打合せ内容の理解、記録 内部関係者（業務委託者内）への情報伝達 工程管理	13.5 点	/ 20.8 点
		ミス防止の実施	1.0 点	/ 1.5 点
		当初工程計画の変更	2.4 点	/ 3.7 点
	コミュニケーション力	理解しやすい説明・表現 円滑な業務遂行への努力	3.3 点	/ 5.1 点
取組姿勢 社会性	責任感の強さ、積極性	5.3 点	/ 8.2 点	
結果評価	施工計画の確認検討 施工図等の検討 工事の確認	目的の達成度 業務報告書等の的確な取りまとめ ミスの有無	18.4 点	/ 28.2 点
評定点の小計（注）			65.0 点	/ 100.0 点
事故等又は技術提案の不履行による減点			0	点
総合評価点			65.0	点 / 100点

注) 評定点の小計は、小数第一位を四捨五入し整数とする。

集計表（その1 項目別集計）

（完了時）

業務名 ○○工事監理業務

受注者名 ○○建築事務所

評定点※ 65 等又は技術提案の不履行による減点 0点／履行又は損害賠償の請求の実施による減点

評価項目	評価の視点	指標	得点	配点 /35	
専門技術力	業務執行技術力 目的と内容の理解 必要情報の把握 検討・確認項目、検討・確認内容 打合せ資料の内容 十分な技術力	0.00	0.00	／ 11.36	
管理技術力	迅速性 工程管理能力 調整能力 実施手順、工程計画 実施体制 打合せ内容の理解、記録 内部関係者（業務委託者内）への情報伝達 工程管理	0.00	0.00	／ 7.30	
	品質管理能力 ミス防止の実施	0.00	0.00	／ 0.51	
	弾力性等 当初工程計画の変更	0.00	0.00	／ 1.28	
コミュニケーション力	説明力 表現力 協調性 理解しやすい説明・表現 円滑な業務遂行への努力	0.00	0.00	／ 1.79	
取組姿勢 社会性	責任感 積極性 責任感の強さ、積極性	0.00	0.00	／ 2.88	
施工計画の確認検討 施工図等の検討 工事の確認	目的の達成度 業務報告書等の的確な取りまとめ ミスの有無	0.00	0.00	／ 9.88	
			※	0.00	／ 35.00

（表の見方）

- 1) 評定点は65点を標準として加減点最大±35点で算出している。
 - 2) 加減点数の項目別の配点は、業務内容によって異なる。
 - 3) 本業務の受託者が得点した点数を項目別に指標化している。
 - 4) 指標は0を標準（加減点なし）とし、-100から+100までの整数で表示している。
- ※（評定点）と（65+項目別の得点の合計）は四捨五入の関係等で一致しない場合がある。

集計表(その2:分野別集計)

業務名: ○○工事監理業務

工事監理業務			主任監督員					総括監督員	検査員	
評価項目		評価の視点	管理・統轄	各分野						
				意匠	構造	電気設備	機械設備			
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	目的と内容の理解	0 / 1					0 / 10	0 / 20
		必要情報の把握	0 / 1	0 / 2.5	0 / 2.5	0 / 2.5	0 / 2.5			
		検討・確認項目、検討・確認内容	0 / 1	0 / 2.5	0 / 2.5	0 / 2.5	0 / 2.5			
		打合せ資料の内容	0 / 1	0 / 2.5	0 / 2.5	0 / 2.5	0 / 2.5			
		十分な技術力	0 / 1	0 / 2.5	0 / 2.5	0 / 2.5	0 / 2.5			
		小計	0 / 5	0 / 10	0 / 10	0 / 10	0 / 10			
	管理技術力	迅速性、工程管理能力、調整能力	実施手順、工程計画	0 / 2					0 / 7.5	0 / 10
			実施体制	0 / 2						
			打合せ内容の理解、記録	0 / 1	0 / 2	0 / 2	0 / 2	0 / 2		
			内部関係者（業務委託者内）への情報伝達	0 / 1						
			工程管理	0 / 2	0 / 4	0 / 4	0 / 4	0 / 4		
		小計	0 / 8	0 / 6	0 / 6	0 / 6	0 / 6			
	品質管理能力	ミス防止の実施	0 / 4							
		小計	0 / 4							
	弾力性等	当初工程計画の変更	0 / 2	0 / 2	0 / 2	0 / 2	0 / 2			
		小計	0 / 2	0 / 2	0 / 2	0 / 2	0 / 2			
	コミュニケーション力	説明力、表現力、協調性	理解しやすい説明・表現	0 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 1		
			円滑な業務遂行への努力	0 / 1	0 / 2	0 / 2	0 / 2	0 / 2		
			小計	0 / 2	0 / 3	0 / 3	0 / 3	0 / 3		
	性勢取組委員会	責任感、積極性	責任感の強さ、積極性	0 / 2	0 / 2	0 / 2	0 / 2	0 / 2	0 / 10	
小計			0 / 2	0 / 2	0 / 2	0 / 2	0 / 2	0 / 10		
結果評価	施工計画の確認検討、施工図等の検討、工事の確認	目的の達成度	0 / 4	0 / 4	0 / 4	0 / 4	0 / 4	0 / 7.5	0 / 5	
		業務報告書等の的確な取りまとめ	0 / 4	0 / 4	0 / 4	0 / 4	0 / 4			
		ミスの有無	0 / 4	0 / 4	0 / 4	0 / 4	0 / 4			
		小計	0 / 12	0 / 12	0 / 12	0 / 12	0 / 12			
計			0 / 35	0 / 35	0 / 35	0 / 35	0 / 35	0 / 35		
各分野評定点	①	—	65	65	65	65	—	—		
各分野比率	②	—	0.412811495	0.444596855	0.121809232	0.020782418	—	—		
①×②	③	—	26.8327472	28.89879558	7.917600073	1.350857143	—	—		
管理・統轄評定点、各分野評定点の合計(Σ③)	④	65	65.0				—	—		
管理・統轄評定点、各分野評定点の合計の比率	⑤	0.2	0.8				—	—		
④×⑤	⑥	13	52.0				—	—		
主任監督員評定点(Σ⑥)、総括監督員評定点	⑦	65					65	—		
主任監督員評定点、総括監督員評定点の比率	⑧	0.8					0.2	—		
⑦×⑧	⑨	52					13.0	—		
監督職員、検査員評定点)	⑩	65					65	—		
監督職員、検査員評定点の比率	⑪	0.8					0.2	—		
⑩×⑪	⑫	52					13	—		
総合評定点の算出	⑬	65								
	⑭	事故等又は技術提案の不履行による減点(業務遂行段階を対象とする)					0点			
	⑮	履行又は損害賠償の請求の実施による減点(軽微なミスの修正を除く)					0点			
	⑯	総合評定点=⑬+⑭+⑮					65点			

建築工事監理委託業務成績評定 採点総括表

業務名：〇〇工事監理業務

工事監理業務			主任監督員				総括監督員	検査員	
評価項目	評価の視点	管理・統轄	各分野						
			意匠	構造	電気設備	機械設備			
プロセス評価	専門技術力 業務執行技術力	目的と内容の理解	0 / 0.128						
		必要情報の把握	0 / 0.128	0 / 0.5284	0 / 0.56908	0 / 0.15592	0 / 0.0266		
		検討・確認項目、検討・確認内容	0 / 0.128	0 / 0.5284	0 / 0.56908	0 / 0.15592	0 / 0.0266	0 / 1.6	0 / 4
		打合せ資料の内容	0 / 0.128	0 / 0.5284	0 / 0.56908	0 / 0.15592	0 / 0.0266		
		十分な技術力	0 / 0.128	0 / 0.5284	0 / 0.56908	0 / 0.15592	0 / 0.0266		
		小計	0 / 0.64	0 / 2.11359	0 / 2.27634	0 / 0.62366	0 / 0.10641	0 / 1.6	0 / 4
管理技術力	迅速性、工程管理能力、調整能力	実施手順、工程計画	0 / 0.256						
		実施体制	0 / 0.256						
		打合せ内容の理解、記録	0 / 0.128	0 / 0.42272	0 / 0.45527	0 / 0.12473	0 / 0.02128	0 / 1.2	0 / 2
		内部関係者（業務委託者内）への情報伝達	0 / 0.128						
		工程管理	0 / 0.256	0 / 0.84544	0 / 0.91053	0 / 0.24947	0 / 0.04256		
		小計	0 / 1.024	0 / 1.26816	0 / 1.3658	0 / 0.3742	0 / 0.06384	0 / 1.2	0 / 2
	品質管理能力	ミス防止の実施	0 / 0.512						
		小計	0 / 0.512						
	弾力性等	当初工程計画の変更	0 / 0.256	0 / 0.42272	0 / 0.45527	0 / 0.12473	0 / 0.02128		
		小計	0 / 0.256	0 / 0.42272	0 / 0.45527	0 / 0.12473	0 / 0.02128		
	コミュニケーション力	説明力、表現力、協調性	理解しやすい説明・表現	0 / 0.128	0 / 0.21136	0 / 0.22763	0 / 0.06237	0 / 0.01064	
円滑な業務遂行への努力			0 / 0.128	0 / 0.42272	0 / 0.45527	0 / 0.12473	0 / 0.02128		
小計			0 / 0.256	0 / 0.63408	0 / 0.6829	0 / 0.1871	0 / 0.03192		
性勢、取組、社協会	責任感、積極性	責任感の強さ、積極性	0 / 0.256	0 / 0.42272	0 / 0.45527	0 / 0.12473	0 / 0.02128	0 / 1.6	
		小計	0 / 0.256	0 / 0.42272	0 / 0.45527	0 / 0.12473	0 / 0.02128	0 / 1.6	
結果評価	施工計画の確認、検討、施工図等の検討、工事の確認	目的の達成度	0 / 0.512	0 / 0.84544	0 / 0.91053	0 / 0.24947	0 / 0.04256		
		業務報告書等の的確な取りまとめ	0 / 0.512	0 / 0.84544	0 / 0.91053	0 / 0.24947	0 / 0.04256	0 / 1.2	0 / 1
		ミスの有無	0 / 0.512	0 / 0.84544	0 / 0.91053	0 / 0.24947	0 / 0.04256		
		小計	0 / 1.536	0 / 2.53631	0 / 2.7316	0 / 0.7484	0 / 0.12769	0 / 1.2	0 / 1
計			0 / 4.48	0 / 7.39758	0 / 7.96718	0 / 2.18282	0 / 0.37242	0 / 5.6	0 / 7

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1.0	0.5	0	-0.5	-1			
プロセス評価	専門技術力 業務執行技術力	業務執行技術力	10	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して得点率「-1」、「-0.5」、「0」（基準点）「0.5」、「1」を付与する。					0	<input checked="" type="checkbox"/> ・当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 <input checked="" type="checkbox"/> ・当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 <input checked="" type="checkbox"/> ・当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・その他（理由： ）
		得点率を記入		0						
	小計	10						0		
	管理技術力 工程管理能力	実施計画、実施体制	7.5	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して得点率「-1」、「-0.5」、「0」（基準点）「0.5」、「1」を付与する。					0	<input type="checkbox"/> ・実施手順の設定、工程計画の立案にあたり、業務を効率的あるいは円滑に遂行するための工夫がなされていた。 <input checked="" type="checkbox"/> ・工程管理において積極的な姿勢が見られた。 <input checked="" type="checkbox"/> ・業務を効率的あるいは円滑に遂行できるよう、必要な人員及び資格者が確保されていた。 <input type="checkbox"/> ・その他（理由： ）
		得点率を記入		0						
	小計	7.5						0		
取組姿勢、社会性 責任感、積極性	責任感の強さ、積極性	10	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して得点率「-1」、「-0.5」、「0」（基準点）「0.5」、「1」を付与する。					0	<input type="checkbox"/> ・企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> ・業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。 <input checked="" type="checkbox"/> ・業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完了させた。 <input type="checkbox"/> ・その他（理由： ）	
	得点率を記入		0							
小計	10						0			
結果評価 施工計画の確認検討、施工図等の検討、工事の確認	達成度	7.5	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して得点率「-1」、「-0.5」、「0」（基準点）「0.5」、「1」を付与する。					0	<input type="checkbox"/> ・業務成果は、業務目的に照らし、特に評価できるものであった。 <input checked="" type="checkbox"/> ・工事の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> ・工事の工程に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 <input type="checkbox"/> ・その他（理由： ）	
	得点率を記入		0							
小計	7.5						0			
合計		35						0		
評定点		合計+65					65			

所見	
----	--

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
プロセス評価 専門技術力 業務執行技術力	目的と内容の理解	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 ■ ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 □ ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 □ ・当該業務と他の業務、事業の関連が理解されていた。
	必要情報の把握	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・業務着手時点において、必要な技術基準等が準備されていた。 ■ ・業務実施の各段階で、必要な技術基準等の内容が理解されていた。 □ ・業務実施の各段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされた。 □ ・業務実施の各段階で、新たに入手した資料が理解・活用されていた。
	検討・確認項目、検討・確認内容	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・検討・確認項目は、契約図書の内容を満足していた。 ■ ・実施された検討・確認項目の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 □ ・業務目的に照らし必要な検討・確認項目が不足無く実施され、関連する業務・事業間の整合も図られていた。 □ ・実施された検討・確認項目の技術的内容は、新たな、あるいは高度な設計等の技術に対応した難易度の高いものであった。
	打合せ資料の内容	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・打合せ資料は、業務の各段階で必要な内容が盛り込まれたものであった。 ■ ・打合せ資料の内容は、必要な技術レベルを満足するものであった。 □ ・打合せ資料は、前提条件、検討結果等の要点が明記された理解しやすいものであった。 □ ・打合せ資料は、作図や文章表現にミスがほとんどなかった。
	十分な技術力	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・設計内容（当該工事の仕様書や図面等の内容）や関係法令の内容が把握されていた。 ■ ・当初の検討項目の遂行や指示事項等への対応に必要な技術力を有していた。 □ ・業務特性、現地条件、地域特性等の諸条件を考慮した上で、課題の解決が図られていた。 □ ・新たな、あるいは高度な設計等の技術に十分対応できる能力を有していた。
	小計	5						0	

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
プロセス評価 管理技術力	迅速性、工程管理 能力、調整能力	実施手順、工程 計画	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」	0	■ 契約締結後14日以内に業務計画書が提出されるなど、速やかに業務着手がなされた。 ■ 業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた。 □ 立案された実施手順と工程計画は、整合が図られ、かつ業務内容に適合したものであった。 □ 実施手順の設定、工程計画の立案にあたり、業務を効率的あるいは円滑に遂行するための工夫がなされていた。			
		実施体制	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」	0	■ 契約図書に基づき、管理技術者届が提出された。 ■ 業務計画書に示された業務体制組織計画に基づく実施体制により、業務が履行されていた。 □ 業務を効率的あるいは円滑に遂行できる、適切な構成となっていた。 □ 業務を効率的あるいは円滑に遂行できるよう、必要な人員数が確保されていた。			
		打合せ内容の理 解、記録	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」	0	■ 打合せごとに、打合せ記録簿が作成された。 ■ 打合せ後、遅延無く打合せ記録簿が提出された。 □ 打合せ記録簿は、打合せ結果を的確に反映していた。 □ 打合せ後の対応（追加資料送付、進行状況連絡等）は、打合せ結果の内容に沿ったものであった。			
		内部関係者（業 務委託者内）へ の情報伝達	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」	0	■ 内部関係者への情報伝達が確認された。 ■ 内部関係者への情報伝達にミスがなかった。 □ 内部関係者への情報伝達は迅速であった。 □ 管理技術者は、業務遂行に係わるあらゆる状況を理解していた。			
		工程管理	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」	0	■ 打合せ頻度は、十分なものであった。 ■ 契約図書に定められた業務が、業務工程計画どおりに実施された。 □ 打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。 □ 打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握できる状態にあった。			
	小計	8		0					
	品質管理能力	ミス防止の実施	4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」	0	■ 当該業務において、品質管理のための体制が確保されていた。 ■ 具体的な業務の実施状況の確認手法を記した、業務計画書が提出された。 □ 第3者（管理技術者、担当技術者以外）のチェック等自主的な品質管理の努力がなされていた。 □ 品質管理のためのシステム（ex. ISO9001）が構築されていた。			
		小計	4		0				
	弾力性等	当初工程計画の 変更	2	評価細目チェック数 =0⇒「普通」、 =1⇒「やや優」、 =2⇒「優」	0	□ 変更指示書に基づき、当初工程計画からの変更要請に対応した。 □ その結果生じた対応結果が、特に優れていた。			
		小計	2		0				

※該当する評価細目の「□」を「■」に置き換える。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目		
			優	やや	普通	やや	劣				
			1.0	0.5	0	-0.5	-1				
プロセス評価	説明力、表現力、協調性	理解しやすい説明・表現	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・業務計画書及び業務報告書は、日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ■ ・業務計画書及び業務報告書は、検討・確認結果が簡潔明瞭であり、理解しやすい内容となっていた。 □ ・質問に対する確かな回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 □ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。	
		円滑な業務遂行への努力	1	評価細目チェック数 =0⇒「普通」、 =1⇒「やや優」、 =2⇒「優」					0	□ ・密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 □ ・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。	
	小計	2						0			
	取組姿勢、社会性	責任感、積極性	責任感の強さ、積極性	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・管理技術者として、業務の取組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 ■ ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しなかった。 □ ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 □ ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			小計	2						0	
	結果評価	施工計画の確認検討、施工図等の検討、工事の確認	目的の達成度	4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ■ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 □ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容であった。 □ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討・確認項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
業務報告書等の的確な取りまとめ			4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・契約図書にある業務内容、業務遂行段階での指示事項が的確に取りまとめられている。 ■ ・業務報告書やその他検討提出資料の内容において、著しい不整合がみられなかった。 □ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ確認しやすい。 □ ・契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
ミスの有無			4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・工事の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ■ ・工事の工程に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 □ ・チェックリスト等の業務実施状況の記録により、ミスの防止が図られていた。 □ ・業務報告書の内容にミスは無く、打合せ記録簿等も完備されていた。	
小計		12						0			
合計		35						0			
評定点		合計+65					65				

所見	
----	--

※該当する評価細目の「□」を「■」に置き換える。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	各分野 評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1.0	0.5	0	-0.5	-1			
プロセス評価 専門技術力	業務執行技術力	必要情報の把握	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 ----- 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ■ ・業務着手時点において、必要な技術基準等が準備されていた。 ■ ・業務実施の各段階で、必要な技術基準等の内容が理解されていた。 □ ・業務実施の各段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされた。 □ ・業務実施の各段階で、新たに入手した資料が理解・活用されていた。
		検討・確認項目、検討・確認内容	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 ----- 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ■ ・検討・確認項目は、契約図書の内容を満足していた。 ■ ・実施された検討・確認項目の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 □ ・業務目的に照らし必要な検討・確認項目が不足無く実施され、関連する業務・事業間の整合も図られていた。 □ ・実施された検討・確認項目の技術的内容は、新たな、あるいは高度な設計等の技術に対応した難易度の高いものであった。
		打合せ資料の内容	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 ----- 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ■ ・打合せ資料は、業務の各段階で必要な内容が盛り込まれたものであった。 ■ ・打合せ資料の内容は、必要な技術レベルを満足するものであった。 □ ・打合せ資料は、前提条件、検討結果等の要点が明記された理解しやすいものであった。 □ ・打合せ資料は、作図や文章表現にミスがほとんどなかった。
		十分な技術力	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 ----- 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ■ ・設計内容（当該工事の仕様書や図面等の内容）や関係法令の内容が把握されていた。 ■ ・当初の検討項目の遂行や指示事項等への対応に必要な技術力を有していた。 □ ・業務特性、現地条件、地域特性等の諸条件を考慮した上で、課題の解決が図られていた。 □ ・新たな、あるいは高度な設計等の技術に十分対応できる能力を有していた。
		小計	10						0	
管理技術力	迅速性、工程管理能力、調整能力	打合せ内容の理解、記録	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 ----- 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ■ ・打合せごとに、打合せ記録簿が作成された。 ■ ・打合せ後、遅延無く打合せ記録簿が提出された。 □ ・打合せ記録簿は、打合せ結果を的確に反映していた。 □ ・打合せ後の対応（追加資料送付、進行状況連絡等）は、打合せ結果の内容に沿ったものであった。
		工程管理	4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 ----- 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ■ ・打合せ頻度は、十分なものであった。 ■ ・契約図書に定められた業務が、業務工程計画どおりに実施された。 □ ・打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。 □ ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握できる状態にあった。
		小計	6						0	
	弾力性等	当初工程計画の変更	2	評価細目チェック数 =0⇒「普通」 =1⇒「やや優」、 =2⇒「優」 ----- 0					0	<ul style="list-style-type: none"> □ ・変更指示書に基づき、当初工程計画からの変更要請に対応した。 □ ・その結果生じた対応結果が、特に優れていた。
	小計	2						0		

※該当する評価細目の「□」を「■」に置き換える。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1.0	0.5	0	-0.5	-1			
プロセス評価	説明力、表現力、協調性	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・業務計画書及び業務報告書は、日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ■ ・業務計画書及び業務報告書は、検討・確認結果が簡潔明瞭であり、理解しやすい内容となっていた。 □ ・質問に対する確かな回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 □ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。	
		2	評価細目チェック数 =0⇒「普通」、 =1⇒「やや優」、 =2⇒「優」					0	□ ・密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 □ ・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。	
		3	0					0		
	取組姿勢、社会性	責任感、積極性	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・担当技術者として、業務の取組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 ■ ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがあった。 □ ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 □ ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			2	0					0	
		小計	2	0					0	
結果評価	施工計画の確認検討、施工図等の検討、工事の確認	4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ■ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 □ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容であった。 □ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討・確認項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。	
		4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・契約図書にある業務内容、業務遂行段階での指示事項が的確に取りまとめられている。 ■ ・業務報告書やその他検討提出資料の内容において、著しい不整合がみられなかった。 □ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ確認しやすい。 □ ・契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
		4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・工事の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ■ ・工事の工程に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 □ ・チェックリスト等の業務実施状況の記録により、ミスの防止が図られていた。 □ ・業務報告書の内容にミスは無く、打合せ記録簿等も完備されていた。	
	小計	12	0					0		
	合計	35	0					0		
評定点	合計+65						65			

所見	
----	--

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	各分野 評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
プロセス評価 専門技術力	業務執行技術力	必要情報の把握	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」	0	■ ・業務着手時点において、必要な技術基準等が準備されていた。 ■ ・業務実施の各段階で、必要な技術基準等の内容が理解されていた。 □ ・業務実施の各段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされた。 □ ・業務実施の各段階で、新たに入手した資料が理解・活用されていた。			
		検討・確認項目、検討・確認内容	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」	0	■ ・検討・確認項目は、契約図書の内容を満足していた。 ■ ・実施された検討・確認項目の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 □ ・業務目的に照らし必要な検討・確認項目が不足無く実施され、関連する業務・事業間の整合も図られていた。 □ ・実施された検討・確認項目の技術的内容は、新たな、あるいは高度な設計等の技術に対応した難易度の高いものであった。			
		打合せ資料の内容	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」	0	■ ・打合せ資料は、業務の各段階で必要な内容が盛り込まれたものであった。 ■ ・打合せ資料の内容は、必要な技術レベルを満足するものであった。 □ ・打合せ資料は、前提条件、検討結果等の要点が明記された理解しやすいものであった。 □ ・打合せ資料は、作図や文章表現にミスがほとんど無かった。			
		十分な技術力	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」	0	■ ・設計内容（当該工事の仕様書や図面等の内容）や関係法令の内容が把握されていた。 ■ ・当初の検討項目の遂行や指示事項等への対応に必要な技術力を有していた。 □ ・業務特性、現地条件、地域特性等の諸条件を考慮した上で、課題の解決が図られていた。 □ ・新たな、あるいは高度な設計等の技術に十分対応できる能力を有していた。			
		小計	10		0				
管理技術力	迅速性、工程管理能力、調整能力	打合せ内容の理解、記録	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」	0	■ ・打合せごとに、打合せ記録簿が作成された。 ■ ・打合せ後、遅延無く打合せ記録簿が提出された。 □ ・打合せ記録簿は、打合せ結果を的確に反映していた。 □ ・打合せ後の対応（追加資料送付、進行状況連絡等）は、打合せ結果の内容に沿ったものであった。			
		工程管理	4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」	0	■ ・打合せ頻度は、十分なものであった。 ■ ・契約図書に定められた業務が、業務工程計画どおりに実施された。 □ ・打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。 □ ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握できる状態にあった。			
		小計	6		0				
	弾力性等	2	評価細目チェック数 =0⇒「普通」 =1⇒「やや優」、 =2⇒「優」	0	□ ・変更指示書に基づき、当初工程計画からの変更要請に対応した。 □ ・その結果生じた対応結果が、特に優れていた。				
小計	2		0						

※該当する評価細目の「□」を「■」に置き換える。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1.0	0.5	0	-0.5	-1			
プロセス評価	説明力、表現力、協調性	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ■ ・業務計画書及び業務報告書は、日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ■ ・業務計画書及び業務報告書は、検討・確認結果が簡潔明瞭であり、理解しやすい内容となっていた。 □ ・質問に対する確かな回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 □ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 	
			0							
		2	評価細目チェック数 =0⇒「普通」、 =1⇒「やや優」、 =2⇒「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> □ ・密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 □ ・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。 	
	0									
	小計		3						0	
	取組姿勢、社会性	責任感、積極性	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ■ ・担当技術者として、業務の取組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 ■ ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがあった。 □ ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 □ ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
0										
小計		2						0		
結果評価	施工計画の確認検討、施工図等の検討、工事の確認	4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ■ ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ■ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 □ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容であった。 □ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討・確認項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。 	
			0							
		4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ■ ・契約図書にある業務内容、業務遂行段階での指示事項が的確に取りまとめられている。 ■ ・業務報告書やその他検討提出資料の内容において、著しい不整合がみられなかった。 □ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ確認しやすい。 □ ・契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 	
	0									
	4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ■ ・工事の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ■ ・工事の工程に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 □ ・チェックリスト等の業務実施状況の記録により、ミスの防止が図られていた。 □ ・業務報告書の内容にミスは無く、打合せ記録簿等も完備されていた。 		
0										
小計		12						0		
合計		35						0		
評定点		合計+65					65			

所見	
----	--

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	各分野 評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1.0	0.5	0	-0.5	-1			
プロセス評価	専門技術力 業務執行技術力	必要情報の把握	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 ----- 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務着手時点において、必要な技術基準等が準備されていた。 ■ 業務実施の各段階で、必要な技術基準等の内容が理解されていた。 □ 業務実施の各段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされた。 □ 業務実施の各段階で、新たに入手した資料が理解・活用されていた。
		検討・確認項目、検討・確認内容	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 ----- 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ■ 検討・確認項目は、契約図書の内容を満足していた。 ■ 実施された検討・確認項目の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 □ 業務目的に照らし必要な検討・確認項目が不足無く実施され、関連する業務・事業間の整合も図られていた。 □ 実施された検討・確認項目の技術的内容は、新たな、あるいは高度な設計等の技術に対応した難易度の高いものであった。
		打合せ資料の内容	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 ----- 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ■ 打合せ資料は、業務の各段階で必要な内容が盛り込まれたものであった。 ■ 打合せ資料の内容は、必要な技術レベルを満足するものであった。 □ 打合せ資料は、前提条件、検討結果等の要点が明記された理解しやすいものであった。 □ 打合せ資料は、作図や文章表現にミスがほとんどなかった。
		十分な技術力	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 ----- 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設計内容（当該工事の仕様書や図面等の内容）や関係法令の内容が把握されていた。 ■ 当初の検討項目の遂行や指示事項等への対応に必要な技術力を有していた。 □ 業務特性、現地条件、地域特性等の諸条件を考慮した上で、課題の解決が図られていた。 □ 新たな、あるいは高度な設計等の技術に十分対応できる能力を有していた。
		小計	10						0	
管理技術力	迅速性、工程管理能力、調整能力	打合せ内容の理解、記録	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 ----- 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ■ 打合せごとに、打合せ記録簿が作成された。 ■ 打合せ後、遅延無く打合せ記録簿が提出された。 □ 打合せ記録簿は、打合せ結果を的確に反映していた。 □ 打合せ後の対応（追加資料送付、進行状況連絡等）は、打合せ結果の内容に沿ったものであった。
		工程管理	4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 ----- 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ■ 打合せ頻度は、十分なものであった。 ■ 契約図書に定められた業務が、業務工程計画どおりに実施された。 □ 打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。 □ 打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握できる状態にあった。
	弾力性等	2	評価細目チェック数 =0⇒「普通」、 =1⇒「やや優」、 =2⇒「優」 ----- 0					0	<ul style="list-style-type: none"> □ 変更指示書に基づき、当初工程計画からの変更要請に対応した。 □ その結果生じた対応結果が、特に優れていた。 	
	小計	2						0		

※該当する評価細目の「□」を「■」に置き換える。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	各分野 評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1.0	0.5	0	-0.5	-1			
プロセス評価	説明力、表現力、協調性	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・業務計画書及び業務報告書は、日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ■ ・業務計画書及び業務報告書は、検討・確認結果が簡潔明瞭であり、理解しやすい内容となっていた。 □ ・質問に対する確かな回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 □ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。	
		2	評価細目チェック数 =0⇒「普通」、 =1⇒「やや優」、 =2⇒「優」					0	□ ・密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 □ ・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。	
		3	0					0		
	取組姿勢、社会性	責任感、積極性	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・担当技術者として、業務の取組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 ■ ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがあった。 □ ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 □ ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			2	0					0	
		小計	2	0					0	
結果評価	施工計画の確認検討、施工図等の検討、工事の確認	4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ■ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 □ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容であった。 □ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討・確認項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。	
		4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・契約図書にある業務内容、業務遂行段階での指示事項が的確に取りまとめられている。 ■ ・業務報告書やその他検討提出資料の内容において、著しい不整合がみられなかった。 □ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ確認しやすい。 □ ・契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
		4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・工事の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ■ ・工事の工程に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 □ ・チェックリスト等の業務実施状況の記録により、ミスの防止が図られていた。 □ ・業務報告書の内容にミスは無く、打合せ記録簿等も完備されていた。	
	小計	12	0					0		
	合計	35	0					0		
評定点	合計+65						65			

所見	
----	--

※該当する評価細目の「□」を「■」に置き換える。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	各分野 評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
プロセス評価 専門技術力	業務執行技術力	必要情報の把握	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」	0	■ ・業務着手時点において、必要な技術基準等が準備されていた。 ■ ・業務実施の各段階で、必要な技術基準等の内容が理解されていた。 □ ・業務実施の各段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされた。 □ ・業務実施の各段階で、新たに入手した資料が理解・活用されていた。			
		検討・確認項目、検討・確認内容	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」	0	■ ・検討・確認項目は、契約図書の内容を満足していた。 ■ ・実施された検討・確認項目の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 □ ・業務目的に照らし必要な検討・確認項目が不足無く実施され、関連する業務・事業間の整合も図られていた。 □ ・実施された検討・確認項目の技術的内容は、新たな、あるいは高度な設計等の技術に対応した難易度の高いものであった。			
		打合せ資料の内容	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」	0	■ ・打合せ資料は、業務の各段階で必要な内容が盛り込まれたものであった。 ■ ・打合せ資料の内容は、必要な技術レベルを満足するものであった。 □ ・打合せ資料は、前提条件、検討結果等の要点が明記された理解しやすいものであった。 □ ・打合せ資料は、作図や文章表現にミスがほとんどなかった。			
		十分な技術力	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」	0	■ ・設計内容（当該工事の仕様書や図面等の内容）や関係法令の内容が把握されていた。 ■ ・当初の検討項目の遂行や指示事項等への対応に必要な技術力を有していた。 □ ・業務特性、現地条件、地域特性等の諸条件を考慮した上で、課題の解決が図られていた。 □ ・新たな、あるいは高度な設計等の技術に十分対応できる能力を有していた。			
		小計	10		0				
管理技術力	迅速性、工程管理能力、調整能力	打合せ内容の理解、記録	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」	0	■ ・打合せごとに、打合せ記録簿が作成された。 ■ ・打合せ後、遅延無く打合せ記録簿が提出された。 □ ・打合せ記録簿は、打合せ結果を的確に反映していた。 □ ・打合せ後の対応（追加資料送付、進行状況連絡等）は、打合せ結果の内容に沿ったものであった。			
		工程管理	4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」	0	■ ・打合せ頻度は、十分なものであった。 ■ ・契約図書に定められた業務が、業務工程計画どおりに実施された。 □ ・打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。 □ ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握できる状態にあった。			
		小計	6		0				
	弾力性等	2	評価細目チェック数 =0⇒「普通」 =1⇒「やや優」、 =2⇒「優」	0	□ ・変更指示書に基づき、当初工程計画からの変更要請に対応した。 □ ・その結果生じた対応結果が、特に優れていた。				
小計	2		0						

※該当する評価細目の「□」を「■」に置き換える。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	各分野 評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1.0	0.5	0	-0.5	-1			
プロセス評価	説明力、表現力、協調性	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・業務計画書及び業務報告書は、日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ■ ・業務計画書及び業務報告書は、検討・確認結果が簡潔明瞭であり、理解しやすい内容となっていた。 □ ・質問に対する確かな回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 □ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。	
		2	評価細目チェック数 =0⇒「普通」、 =1⇒「やや優」、 =2⇒「優」					0	□ ・密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 □ ・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。	
		3	0					0		
	取組姿勢、社会性	責任感、積極性	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・担当技術者として、業務の取組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 ■ ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがあった。 □ ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 □ ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			2	0					0	
		小計	2	0					0	
結果評価	施工計画の確認検討、施工図等の検討、工事の確認	4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ■ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 □ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容であった。 □ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討・確認項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。	
		4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・契約図書にある業務内容、業務遂行段階での指示事項が的確に取りまとめられている。 ■ ・業務報告書やその他検討提出資料の内容において、著しい不整合がみられなかった。 □ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ確認しやすい。 □ ・契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
		4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・工事の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ■ ・工事の工程に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 □ ・チェックリスト等の業務実施状況の記録により、ミスの防止が図られていた。 □ ・業務報告書の内容にミスは無く、打合せ記録簿等も完備されていた。	
	小計	12	0					0		
	合計	35	0					0		
評定点	合計+65						65			

所見	
----	--

※該当する評価細目の「□」を「■」に置き換える。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
プロセス評価	業務執行技術力	検討・確認項目、検討・確認内容（施工図の確認） 10	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 ----- 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ■ ・設計内容（当該工事の仕様書や図面等の内容）や関係法令の内容が把握されていた。 ■ ・当初の検討項目や指示事項等について一貫性のある技術的な知識をもって対応した。 □ ・業務特性、現地条件、地域特性等の諸条件を考慮した上で、課題の解決が図られていた。 □ ・新たな、あるいは難易度の高い内容に十分対応した。
		検討・確認項目、検討・確認内容（工事の確認、指示事項等への対応） 10	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 ----- 0						0
	小計	20						0	
	管理技術力	迅速性、工程管理能力、調整能力 10	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 ----- 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ■ ・施工図や工事の確認、指示事項等への対応が行われた。 ■ ・施工図や工事の確認、指示事項等への対応が必要な時期に迅速に行われた。 □ ・工事請負業者等との調整が円滑かつ十分に行われた。 □ ・建築、設備など各分野をまたがる調整が円滑かつ十分に行われた。
小計	10						0		
結果評価	施工計画の確認検討、施工図等の検討、工事の確認 業務報告書等（業務計画書、業務報告書）の的確な取りまとめ 5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 ----- 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ■ ・必要な項目を網羅している。 ■ ・記載内容に著しい不整合が見られない。 □ ・的確で簡潔な表現になっており、業務の履行状況が確認しやすい。 □ ・記載方法に創意工夫がみられ、補足資料等が充実している。 	
		小計	5						0
合計		35						0	
評定点		合計+65					65.0		
								既済部分検査(第1回)評定点	
								既済部分検査(第2回)評定点	
							65.0	既済+完了検査評定点	

所見	
----	--